

8/10(水)
 11(木)
 12(金)
13(土)相生墓園参拝バス運行(～15日)-P19
14(日)白石踊(～16日)
 大島の傘踊り
15(月)終戦記念日
16(火)
17(水)
18(木)
19(金)夏休み子ども教室-P18
20(土)
21(日)天空と大地のひまわりカーニバル2005-P16
22(月)
23(火)
24(水)
25(木)
26(金)
27(土)かさおか夢アート2005-P17
28(日)笠岡市防災訓練-P5
 おかげいち
29(月)
30(火)防災週間(～9月5日)
31(水)
9/ 1(木)
2(金)
3(土)
4(日)国体クリーンアップ作戦-P7
 救急医療週間(～10日)
5(月)
6(火)
7(水)
8(木)
9(金)



瞳輝いて



河崎 唯さん
(西大島新田)

夢は実業団でのプレー!

「全国では、強い選手と試合をすることが楽しみ!そんな相手と対等に戦えたときは、充実感が味わえるので。」8月9日から11日に東京の駒沢オリンピック公園運動場体育館で開催される「全国高等学校定時制通信制卓球大会」の抱負を語る河崎さん。

中学生の頃から卓球部に所属。井原市立高校に通う現在は、学費を少しでも自分の力で稼ごうとアルバイトも始め、忙しい合間に縫って卓球の練習をしています。母校の大島中学校に通つて練習をしたこともあるのだとか。

その甲斐あって、5月に行われた県予選では「個人の部」で3位に入賞し、初の全国出場を果たしました。全国ではベスト8を目指に戦います。

「卓球は、今後も趣味としてでもずっとやっていきたいですね。でも、練習の積み重ねをして実業団でプレーできるような選手になりたいです。」



国指定重要無形民俗文化財
白石踊

白石踊は、白石島に古くから伝わる盆踊り、回向(供養)踊りで、白石島の文化を代表するもののひとつです。かつては島民の大きな娯楽の場でもあり、老若男女が夜を徹して踊ったといいます。現在では、新暦の八月十四日から十六日の夜に行われます。この踊りの特徴は、一つの口説き

(音頭)に合わせて何種類もの踊りを踊る点があります。現在では男踊・女踊・娘踊(月見踊)・笠踊・奴踊・扇踊・二つ拍子・大師踊・阿亀踊・梵天踊・ブラブラ踊・鉄砲踊・真影踊と、都合十三種類の踊りが伝わっています。それぞれ衣装や所作が異なった踊りが、一つのリズムに溶け込んで調和を生み出すさまは、動的かつ優雅でありながら、どこか素朴な味わいもあります。

踊りの起源は、瀬戸内海で行われた源平水島合戦の戦死者の靈を弔うために始まったと言い伝えられています。音頭は、「那須与一」「石童丸」「丹波与作」「賽の河原」などたくさんの中学校での伝承活動も盛んに行われています。

白石島では「白石踊会」が結成され、踊りが継承されています。また、小・中学校での伝承活動も盛んに行われています。

歴史を訪ねて 笠岡市の文化財